

カリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針)

本大学院は、人間科学研究科(心身健康科学専攻)を設け、既設の「愛知みずほ大学人間科学部」における教育研究を基盤とし、密接な相互関係にある人間の身体と心と社会の健康に関する諸科学を「人間科学」として、総合的・学際的な教育研究を推進する。ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)により、学際的な視野を持ち、人間科学に関する豊かな知識と技術を身につけた研究者、個性ある高度の職業人を育成し、もって社会に貢献することを目的として、以下のよう
にカリキュラムを編成し、実施する。

- 基礎科目(健康科学特論、心理行動科学特論)では、健康の歴史的発展過程を検証し、健康の維持・増進をはかるための実践的課題、問題点を医学を中心とする学際領域、関連諸分野から光を当て探究することができる技能を身につける。また、人間の心と行動に関する研究視点の歴史的変遷、及び人間の基本的行動の諸相、並びにその測定視点などについて深く理解し考察することができる能力を獲得する。
- 専門科目では、基礎科目を基盤とし、病理・病態学、疫学、生活習慣病論等により構成する健康管理学を中心に、公衆衛生学、運動生理学、健康スポーツ医学、健康栄養学等を配し、健康科学として広く自然科学的に社会のあり様を通して身体の健康の維持・増進に関して多面的に且つ深く考究することができる能力を醸成する。併せて心の健康を目標に、精神保健への専門的援助の視点を重視しつつ、心理学・カウンセリング領域の専門的な知識・技能をより深く考究できる能力を獲得する。